



一関修紅男子、盛岡女子V

胆江勢 水沢工男子がベスト8

県高校新人バレー

第60回県高校新人バレーボール大会は27、29、30日の3日間、花巻市総合体育館などを会場に行われ、男子は一関修紅が28年ぶり7回目、女子は盛岡女子が4年連続15回目の優勝に輝いた。胆江勢では水沢工男子のベスト8が最高成績だった。

大会には男子34校、女子47校が出場。男女とも4ブロックに分かれたトーナメント、上

男子準々決勝・水沢工

盛岡南 スバイクを放つ千田真彦主将(水沢工2年)―花巻市総合体育館

位4校による決勝リーグで優勝を争った。水沢工男子はレフトアタックを中心とした持ち前の攻撃力で、初戦の宮古に2-0のストレート勝ちを収めると3回戦は高田に2-1で競り勝ち8強入り。ブロック代表を懸け、盛岡南との準々決勝に臨んだ。

試合は盛岡南の強いサーブに対し、水沢工はサーブカットが乱れる苦しい展開。セッターもこなす千田真彦主将(2年)、菊池優(2年)らのレフト攻撃に、ライト攻撃を織り交ぜ反撃するも盛岡

南の堅い守備に阻まれ、最後まで追いつくことができなかった。今大会の優秀選手にも選ばれた水沢工の千田主将は「ベスト4にいけないと思っていただけ」とストレート負けに痛恨の表情。「まだ試合慣れしていないメンバーが多い。緊張してしまった」と経験不足を反省点に挙げた。

現在部員は2年生4人、1年生5人の9人。このメンバーを中心に県高総体では4強以上を狙う。「練習通りのプレーができるように。試合を想定した練習を重ねたい」と千田

主将。「ベスト4に入ってから後輩たちにプレッシャーをかけたい」と気合十分に仲間たちと今後のさらなる猛練習を誓った。

【男子】

▽2回戦 盛岡三2-0水沢

水沢工2-0宮古

▽3回戦 水沢工2-1高田

▽準々決勝 盛岡南2-0水沢工

▽決勝リーグ 一関修紅2-0黒沢尻工

不来方2-0盛岡南

一関修紅2-1盛岡南

一関修紅2-0不来方

一関修紅2-0不来方

敗

主将。「ベスト4に入ってから後輩たちにプレッシャーをかけたい」と気合十分に仲間たちと今後のさらなる猛練習を誓った。

【女子】

▽1回戦 花巻南2-0水沢

岩谷堂2-0紫波総合

水沢商2-0久慈

一関1-0前沢

▽2回戦 岩手女子2-0水沢

盛岡商2-0岩谷堂

高田2-0水沢商

▽決勝リーグ 盛岡女子2-0一関修紅

高田2-0盛岡市立

盛岡女子2-1盛岡市立

盛岡女子2-1高田

高田2-0一関修紅

一関修紅2-0盛岡市立

※①盛岡女子3勝②高田2勝1敗③一関修紅1勝2敗④盛岡市立3敗

敗

敗

敗

敗